

第 23 回日本胎盤臨床医学会大会プログラム

- 10 : 00 開会の辞
- 10 : 10~10 : 40 **特別講演 1**
Professor Igor Kvetnoy
『The study of the mechanisms of biological activity of MELSMON preparation (on expression of signal molecules – markers of intracellular organelles) in human endometrial AND fibroblasts’ cultures. Perspectives for application』
- 10 : 40~11 : 10 **特別講演 2**
Professor Orazov Mekan Rakhimberdievich
『Metabolic therapy post-hysterectomy syndrome in women at perimenopausal age』
- 11 : 10~11 : 40 **特別講演 3**
Professor Jungtae Na
『Antioxidant effect of human placenta extract(Laennec) against oxidative stress on muscle atrophy』
- 12 : 00~12 : 40 **ランチオンセミナー 2 題**
- 13 : 10~14 : 00 **招待講演 1**
落谷 孝広 (国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野 分野長)
『血液一滴でがんを早期発見するマイクロ RNA 体液診断とは』
- 14 : 10~15 : 00 **招待講演 2**
李 鍾國 (大阪大学大学院医学系研究科
先進心血管再生医学共同研究講座 特任准教授)
『PS 細胞を用いた心筋再生と創薬研究
「心臓」を培養皿上で再構築することは可能か?』
- 15 : 10~15 : 40 **研究発表 1**
森嶋 淳友 (ラ・ヴィータメディカルクリニック院長)
『ドイツ振動医学から読み解くプラセンタの新たな効能について』
- 15 : 40~16 : 00 **研究発表 2**
光武 和彦 (ホロス光武クリニック院長)
『YNSA とプラセンタ療法 2 (導入しやすい新しい診断法と自律神経調整法)』
- 16 : 00~16 : 20 **研究発表 3**
馬淵 茂樹 (東京トータルライフクリニック院長)
『プラセンタ療法を含めこれまでやってきたこと、
これからやろうとしていること』